

平成30年度 教育計画

八幡浜市立神山小学校

校長氏名	甲野 正人	児童数	203名	学級数	10 (2) (通級1)	教職員数	男 6名 女 12名 計 18名
------	-------	-----	------	-----	--------------------	------	------------------------

教育目標・基本方針

【教育目標】

「夢の実現をめざして、心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成」

－ 夢をもって、今を生きる －

【校訓】

【目指す児童像】

（つよく …めあてをもって 粘り強くがんばる子）
 （ただしく …進んで学び よく考える子）
 （うるわしく …やさしく 思いやりのある子）

【キーワード】

「向上心」「凡事徹底」

【目指す教職員像】

誠実で行動力があり、協力し合い、互いに高め合う教職員

【基本方針】

- 1 夢と意欲を育む活力ある学校づくり
- 2 家庭・地域と共に歩む学校づくり
- 3 地域に開かれた安全・安心な学校づくり
- 4 実践的指導力及び人間的魅力のある指導者づくり

経営の重点と努力事項

【経営の重点】

- 1 ユニバーサルデザインの授業づくり、主体的・対話的で深い学びの実現、学習習慣の形成を重点として、学力向上推進計画に基づき、学力向上を図る。
- 2 人権尊重の精神を基盤として、豊かな心を育てる教育の充実に努め、いじめのない楽しい学校づくりを進める。
- 3 児童一人一人の自己実現を図る生徒指導の充実に努めるとともに、安心して学校生活を送ることができる環境づくりや安全教育の充実に努める。
- 4 新学習指導要領を踏まえた現職教育を進め、教職員の指導力の向上を図る。
- 5 家庭や地域との連携を密にし、ふるさとを愛する児童の育成を進める。

【努力事項】

1 特色ある学校

- (1) 生きる力を育む教育課程の編成・実施・評価
- (2) 地域の教育力と学校評価を生かした教育活動の充実

2 現職教育

- (1) 実践的指導力と人間的魅力に富む教育専門職としての資質・能力の向上
- (2) 新学習指導要領を踏まえた現職研修の充実と教育課程の研究

3 教科指導

- (1) ユニバーサルデザインの授業づくり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - ア 習得⇔活用⇔探究の学習プロセスの重視
 - イ 基礎と応用のバランスのとれた学力の育成
- (2) 「八代ブロック学びの5か条」の徹底による望ましい学習習慣の形成と学習規律の確立

4 心の教育（道徳教育・特別活動・読書活動）

- (1) 道徳科を要とした「自己を見つめる学習」「自己の生き方についての考えを深める学習」の充実
- (2) 集団や社会の一員として、よりよい人間関係を築こうとする自主的な態度の育成
- (3) 自分への信頼感や自信などの自尊感情を高める指導の充実
- (4) 「子ども読書通帳」の活用や読み聞かせ等による読書活動の充実

経営の重点と努力事項

5 外国語活動

- (1) 外国の言語や文化についての体験的理解及び国際感覚の基盤の育成
- (2) 習得した知識及び技能を使って、コミュニケーションをとろうとする積極的な態度の育成

6 総合的な学習の時間

- (1) 思考力・判断力・表現力を高める探究的な学習や協同的な学習の充実
- (2) 児童に必要な力が身に付いたか否かの検証・評価による不断の授業改善

7 生徒指導

- (1) 基本的な生活習慣・規範意識の基盤を形成する指導の徹底
※ 「返事」「あいさつ」「後始末」の徹底
- (2) いじめ防止基本方針に基づく、いじめの未然防止、早期発見・早期解決
- (3) 教育相談の充実及び、教職員と児童・保護者との好ましい人間関係の構築
- (4) 「神山小とともに歩む会」を核とした地域ぐるみの健全育成の推進

8 人権・同和教育

- (1) 互いを尊重し合い、仲間意識に支えられた温かな学級・学校づくりの推進
- (2) 差別解消への意欲や態度を培う同和問題学習の推進
- (3) 差別の現実深く学ぶ姿勢を堅持し、人権意識を高める現職教育の充実

9 キャリア教育

- (1) 夢を育み、自分のよさや適性を生かしていこうとする態度の育成
- (2) 体験活動等を生かした望ましい勤労観・職業観の育成

10 特別支援教育

- (1) 通級指導教室及び特別支援学級を中核とした「一人一人が生きる教育」の推進（教育的ニーズに応じた支援の充実）
- (2) 本人・保護者との合意形成による合理的配慮の提供
- (3) 保護者及び関係諸機関と連携した個別の教育支援計画等の作成と活用
- (4) 関係機関や異校種との連携による総合的な支援体制の構築

11 健康・安全教育 防災教育

- (1) 望ましい生活リズムや食習慣の育成と健康・体力の増進
- (2) 生活安全や交通安全の指導の徹底と防災教育の充実
- (3) 楽しく運動に取り組む機会の設定と体力・運動能力の向上

12 情報教育・環境教育

- (1) 情報社会に主体的に対応できる能力や態度の育成、保護者と連携した情報モラル教育の推進
- (2) 地域のよりよい環境づくりに主体的に取り組む態度の育成
- (3) 関係諸機関との連携による「共生」の心や実践的態度の育成

13 幼（保）・小・中の連携～平成30年度幼保小連携訪問の機会を生かして～

- (1) 発達や学びの連続性のある円滑な接続と連携の強化（幼保小連携）
- (2) 八代ブロック研究推進の充実（小小連携、小中連携）

14 家庭・地域との連携

- (1) 「三層情報環流方式」による地域ぐるみの健全育成の推進
- (2) 学校・家庭・地域との行動連携による開かれた学校づくり

管理運営

1 人的管理

- (1) 温かい人間関係と職務遂行についての厳しさのある職場づくり
- (2) 心身の健康管理の推進、安全管理・危機管理意識の高揚

2 物的管理

- (1) 豊かな心を育てる教育環境の整備・充実、潜在危険箇所の除去
- (2) 施設・設備及び教材・教具の安全点検と有効活用、事故防止

3 事務管理

- (1) 正確・迅速な事務処理と厳正な経理事務、金銭管理の徹底
- (2) 情報公開・個人情報保護に対応できる文書・情報の適切な管理・活用
- (3) 校内情報セキュリティポリシーの遵守

4 業務改善

教職員がゆとりをもって児童に向き合い、活力を持って業務に取り組むことができる環境作り、意識改革の推進

報告・連絡・相談